

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急車運転時の物損事故につながるヒヤリハット
3. 体験した事例の中心的要素	救急車の車体の長さや、車幅間隔を認識できていなかったため、救急車切り返し時に、車両右側面を縁石に擦りかけてしまった。
4. 体験した事例の原因・理由	自身の運転技術の未熟さや地理的状況の知識不足

### 【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年1月5日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：救急車一台しか通行できない狭隘な道
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	その他:
8. (7の活動中)どのような作業 中に発生したか	その他：救急活動後の地理調査
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[22]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動〔過去に1,2回程〕、任務〔機関員〕
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動〔 〕、任務〔 〕
○その他(当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	救急活動後、地理調査中に狭隘な道へ進入	
経過2	A	狭隘な道へ進入中、この先進入不可と決断	
経過3	A	左側後方の駐車スペースで切り返しを試みる	
経過4	A	左側後方に後退後、右折を試みる	
経過5	A	右折時、救急車右側が空いていない	
経過6	A	その為、右折時に右側ボディーを擦りかける	
経過7	A	その後、何度も切り返しを試みる	
経過8	A	切り返しを数十回した後、切り返しができる	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

## 【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？  
○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた。

## ○心理・体調について

## a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

## b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

#### ○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### ○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかつた。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### ○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた(適切な指示を与えられなかつた)。

・活動指示が得られなかつた。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

#### ○その他

l. その他の理由があつた。

自身の運転技術の未熟さや地理的状況の知識不足
------------------------

【事故発生後の取り組みについて】



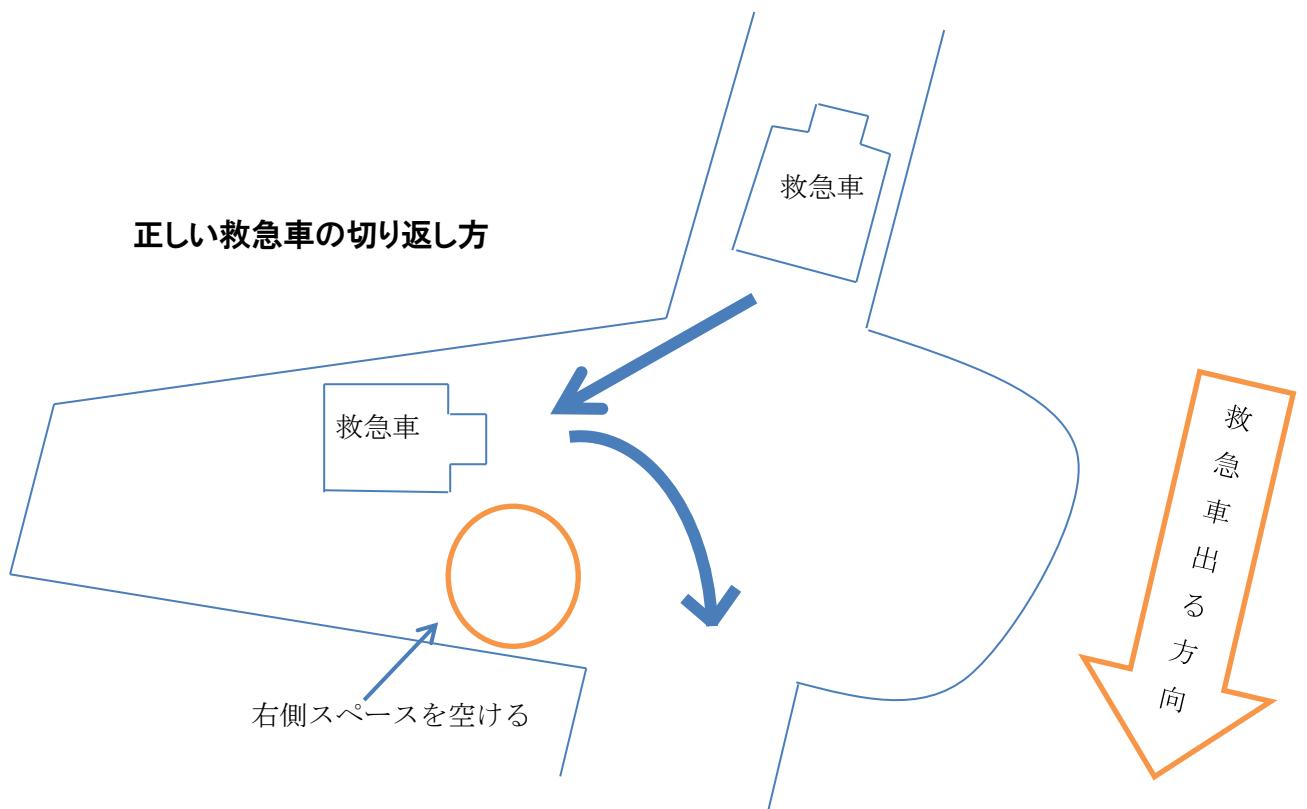
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

### 正しい救急車の切り返し方



### 間違った救急車の切り返し方

